



煌めけ真壁っ子

学校便り 第 2 号
令和 6 年 5 月 1 日 発行
学校長 津嘉山 博好

日曜授業参観へのご参加ありがとうございました

4月21日(日)の日曜授業参観を行いました。1校時に道徳の授業を見て、そして2・3校時は「LGBTQ・断捨離」というテーマで、NPO法人レインボーハートokinawaの竹内清文氏による講演会を親子で聞き、さらに4校時にPTA総会への参加と短時間で多くの内容を詰め込んだ日程ではありましたが、大勢の保護者の皆様にご参加いただきました。ご参加並びにご協力どうもありがとうございました。



春の遠足&1年生を迎える会

4月25日(木)、降雨が懸念されていましたが、出発時刻に雨が落ちてこなかったのが、奥武山公園に向け出発しました。到着したら、地面がぬかるんでいてどうしたものかと思いましたが、幸い屋内運動場を借りることができ、1年生を迎える会が実施できました。1年生が口々に「今日はとんでも楽しかった！」と言っていたので、思い出に残るいい一日になったのだなと思いました。



5月の行事予定

- 1日(月) 家庭訪問(最終日)
- 3日(金) 憲法記念日
- 4日(土) みどりの日
- 5日(日) こどもの日
- 6日(月) 振替休日
- 7日(火) i-check
(3・4・5・6年 ~10日)
- 10日(金) 学校運営協議会
講演会(翁長有希氏)
- 13日(月) クラブ活動発足式
- 15日(水) 視力検査(全学年)
聴力検査(1・2・3・5年)
委員会活動
- 16日(木) 歯科検診(全学年)
PTA拡大委員会
- 17日(金) 体力テスト(全学年)
- 19日(日) PTA作業
- 20日(月) クラブ活動
読み聞かせスタート
- 22日(水) 内科検診(全学年)
- 23日(木) 市教委学校訪問
- 24日(金) 市学推・市P連総会
- 27日(月) クラブ活動
- 29日(水) 児童朝会(給・体)
幼小連携授業(1年)
- 30日(木)・31日(金) 教育相談
(5校時授業)

【 親子の幸せ習慣を身につけよう 】

前野マドカ氏:『幸福度』と非認知能力の関係(FQ Kids2023 SpringIssueより)

子供は親の鑑です。親が人のモノサシによって「こうあるべき」という考えを持っていたら、子供も人と自分を比べるようになります。親が物事の答えを教えることは簡単ですが、子育ての究極のゴールは「親がいなくても子供が生きていけるようにしてあげること」なのだと思います。ぜひ、どうやったらわが子が目の前のワクワクを楽しみ自分の人生を進んでいけるのかを考え、日々の少しの幸せ習慣を意識してみてください。

1. 主体的に物事に取り組み、自己実現と成長を育む習慣

- ・子供が失敗したときの声掛けは「ナイスチャレンジ！」(向上心・失敗から学ぶ力)
- ・友達とけんかしたときは言い分をじっくり聞く(問題解決力)
- ・選択に迷ったときのアドバイスは「ワクワクする方へ」(主体性)



小さなことでもかまわないので、「主体的にやりワクワク」できる夢や目標、やりがいを持ったり、何かを成し遂げる体験を味わうことが幸福感をもたらします。チャレンジには失敗がつきものなので、親は「失敗してもやり直せばいい」「子供の主体性を大切にする」「先回りして準備しない」ことを意識しましょう。自分がワクワクすることがあると子供は没頭し、選択した結果にも責任が持てるようになります。

2. つながりと感謝の気持ちを持つことができる習慣

- ・子供からの「大好き」には「大好き」で返す(自分を信じる力)
- ・人から褒められたら「ありがとう」と受け止める(自己有用感)
- ・人のためになるものは親が行動してみせる(思いやり)



「私は愛されている」と子供が実感できるように、言葉や態度で示そう。自己有用感はありがとう因子を育む重要なキーポイント。親自身が誰かに褒められたり、わが子を褒められたりした場面で謙遜は不要。受け入れて感謝の気持ちを示すことが子供の感謝の気持ちも育てます。また、「思いやり」、つまり人のために行動し喜ばれることで人は幸せを感じやすいので、親が率先して電車で席を譲るなどの利他的な行動を見せるようにしましょう。

3. 前向きで楽観的な気持ちを持つことができる習慣

- ・良い結果が出たらプロセスも褒める(自己受容)
- ・子供の「開花」はひたすら信じて待つ(親子の信頼関係)
- ・失敗して落ち込んでいるときは、だたじっくりと話を聞く(失敗から学ぶ力)



楽観的で前向きであると、「自己受容」が高まります。子供が自分の良い部分も悪い部分も受け入れられること、子供が親を「良い結果が出なくても受け入れてくれる存在」と感じることで挑戦する心が育ちます。また、できないことではなくできることに目を向けて褒めることも大切です。「靴を揃えてえらいね。」でなく「靴を揃えてくれたから玄関がきれいだよ、ありがとう」など表現的でなく理由を伝える習慣を。

4. 独立心と自分らしさを育てる習慣

- ・「今日うれしかったこと」を寝る前に5分間話す(やる気)
- ・親子2人だけの時間をつくる(親子の信頼関係)
- ・固定観念にとらわれず、子供の「好き」に寄り添う(探究心)



他人と自分を比較することなく自分らしくいられる人はウェルビーイングが高い。子供も年齢が上がるごとに他者との関係の中でいろんな悩みや不安を抱えていくので、親は子供が感情を表現しやすいような環境づくりを心がけましょう。嬉しいことを考えたり、好きなことに没頭したり、親がひたすら子供の話を傾聴する時間は、感情を放出することのトレーニングになります。